



2025
11月

令和7年11月4日発行 第6号
学校配置司書 久保田浩一

11月11日は「世界平和記念日」です。第一次世界大戦が終わった日で、平和の大切さを考えるきっかけとなる日です。

学校図書館には、戦争や平和、命や人とのつながりについて深く考えるきっかけになる本があります。

この機会に、本を通して「平和」について考えてみませんか？



今月の特集：戦争と平和にふれる本を紹介します



『狙われた国と地域 1 ウクライナ』 稲葉茂勝/著 あすなろ書房 319
長期にわたって続くロシア・ウクライナ戦争。それを1日でも早く終わらせるにはどうすればいいのでしょうか。ウクライナの現状や子どもたちの暮らし、文化、歴史、ロシアとの関係などを写真と図でわかりやすく紹介します。
(TRC MARCより)

「狙われた国と地域」シリーズは、2 台湾、3 韓国、4 パレスチナもそろっています。世界のニュースでよく見る地域の背景を知ることができます。



『戦場の秘密図書館』 マイク・トムソン/著 文溪堂 010
政府軍によって完全に封鎖され、連日のように空爆が続くシリア・ダラヤの町。そんな過酷な状況の中でも、人々は「本」を心の支えに、日々を生き抜いていました。

これは、内戦下の町の地下に作られた秘密図書館を守り続けた若者たちの、実話に基づくノンフィクションです。

お知らせ：『本の森ちゅうおう』からおすすすめ本が届きました

『本の森ちゅうおう』から、定期巡回貸出として50冊の本が佃中学校に届きました。カウンター横のブックトラックにて展示中(貸出可)です。ぜひ手に取ってご覧ください。その中から一冊紹介します。



『新編 本日もいとをかし!! 枕草子』 小迎裕美子 清少納言/著
KADOKAWA 914

「嫌いなものは嫌い！好きなものは好き！」そうキッパリ言いきる、清少納言の率直な物言いが気持ちいい、平安時代のエッセイ『枕草子』。
この作品では、そんな『枕草子』をマンガでわかりやすく紹介しています。巻末には原文も掲載されています。